

「雲南市医療施設等個別施設計画(案)」に関する  
パブリック・コメント(意見募集)の結果及び  
意見・提案に対する市の考え方について

- ・公表した資料 雲南市医療施設等個別施設計画(案)
- ・意見募集期間 令和8年4月1日～令和8年5月1日
- ・資料等公表場所 雲南市役所1階(健康福祉部)、各総合センター、雲南市ホームページ
- ・意見提出人数 1人
- ・意見提出件数 27件
- ・お寄せいただいたご意見・ご提案と市の考え方

No.	提出されたご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方
		<p>ご意見・ご提案に対する市の考え方 (ご意見に対する共通事項)</p> <p>この度は、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。</p> <p>なお、本計画は、市が保有する医療施設等に関し、施設保有のあり方や維持管理・更新等に係る今後の取り扱いに関する全般的な方針を定めとともに、個々の施設についても検討を進める計画としております。</p> <p>この度いただいた具体的なお意見については、本計画策定時点において計画本文の記載内容の変更は行いませんが、本計画を推進する上での貴重なご意見として参考にさせていただき、今後の個別の取り組みに活かしてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、個別のご意見に対する市の考え方は以下のとおりです。</p>
1	<p>1頁 1.背景・目的(1)背景</p> <p>本計画では、人口減少や財政制約を踏まえた施設の最適配置の必要性が示されているが、医療施設については「地域医療確保」の観点が極めて重要である。単なる施</p>	<p>ご指摘のとおり、医療施設については、人口減少や財政的制約以外に地域医療提供体制の確保も重要な視点であると認識しています。</p>

	<p>設総量の最適化ではなく、診療圏ごとのアクセス性(移動時間・交通手段)や医療提供体制の維持水準を定量的に示したうえで、統廃合や再配置の判断基準を明確化すべきである。</p>	<p>今後の検討過程において、診療圏ごとのアクセス性、医療提供体制の維持水準、統廃合や再配置の判断基準などのご指摘の項目だけではなく、判断の客観性と透明性の確保に資するよう、情報の提供に取り組んでまいります。</p> <p>(健康福祉部保健医療政策課)</p>
2	<p>2 頁</p> <p>2.基本方針(3)財源確保</p> <p>維持管理コスト縮減および使用料見直しが記載されているが、医療施設は受益者負担の適用に慎重を要する分野である。使用料改定の検討にあたっては、市民負担の影響評価(特に高齢者・交通弱者)を行い、その結果を公表する仕組みを明記すべきである。また、指定管理や民間活力導入の適否についても評価指標を設定する必要がある。</p>	<p>計画における医療施設等については、医師住宅・看護師宿舎等、使用料は医療従事者からの徴収に限定されるため、市民への影響評価を行う予定はありません。</p> <p>また、施設の特性上、指定管理を導入する考えは現状ありませんが、民間活力の導入については検討の余地があるため、その可能性について検討していきます。</p> <p>(健康福祉部保健医療政策課)</p>
3	<p>7頁</p> <p>3.施設の実態(3)施設の活用状況</p> <p>利用者数が示されているが、一部施設において数値未記載(医師住宅等)が見受けられる。活用状況の評価においては、利用実績のない施設も含めた「稼働率」や「利用目的」の整理を行い、今後の維持・廃止判断に資するようデータの網羅性を高めるべきである。</p>	<p>施設の活用状況の表欄外下段に記載しましたとおり、特定利用者を対象とし、一般利用のない医師住宅等については、利用者数を記載しておりません。どうぞ、ご理解ください。</p> <p>今後、個別の医療施設等に係る具体的な取組内容を検討するにあたっては、利用者数の状況のみで判断するのではなく、利用目的等その他の様々な要素も踏まえながら総合的な評価に努めます。</p> <p>(健康福祉部保健医療政策課)</p>
4	<p>8～9頁</p> <p>3.施設の実態(5)施設の老朽化状況</p> <p>健全度評価は有効な指標であるが、評価結果(各施設ごとの点数)が本文中で明示されていないため、優先順位の妥当性が判断しにくい。各施設の健全度一覧および優先</p>	<p>各施設の健全度一覧および優先度につきましては、P10に施設ごとの健全評価表として掲載しております。</p> <p>今後、医療施設等については、施設別</p>

	度との対応関係を公表し、意思決定過程の透明性を確保すべきである。	の実施方針に基づき、活用状況や健全度評価等を踏まえた調査を行い、その結果に基づいて施設の方向性や整備内容を検討し、具体的な取組を進める際には、実施状況や必要な情報を整理・確認したうえで、適宜、議会及び市民への適切な説明・公表に努め、透明性の確保を図ってまいります。 (健康福祉部保健医療政策課)
5	11頁 4.施設の適正化に向けた考え方(長寿命化)  長寿命化を基本とする方針は妥当であるが、「長寿命化が不可能と判断した場合」の基準が不明確である。例えば健全度〇点以下、または改修費が建替費の一定割合を超過する場合等、客観的な判断基準を設定することで、恣意的運用を防止すべきである。	個別の医療施設等については、施設別の実施方針に基づき、活用状況や健全度評価を踏まえた調査を行い、その結果に基づいて施設の報告制や整備内容を検討します。そのうえで、長寿命化改修や大規模改修など、予防保全型による維持管理を進めていきます。  長寿命化改修が適当でないと判断される場合には、その理由を明確化し、適宜、議会及び市民への適切な説明・公表に努め、透明性の確保を図ってまいります。 (健康福祉部保健医療政策課)
6	14～15頁 6.更新等に係る費用推計  費用推計は単価ベースの試算であり、実際の財政負担との乖離が懸念される。物価上昇、資材費高騰、労務費増加を反映した感度分析(複数シナリオ)を追加し、財政リスクの可視化を図るべきである。	今後10年間の費用推計は、更新等に係る財政的負担の目安としてお示したものです。基本的な考え方としては、単純更新よりも、長寿命化や予防保全を含めた大規模改修を行う方が公共施設の維持コスト削減に効果があると考えております。  なお、個別施設の具体的な取組を検討する際には、財政面だけでなく、総合的な観点で評価を行ってまいります。 (健康福祉部保健医療政策課)

7	<p>16頁 7.計画の実施方法(フォローアップ)</p> <p>概ね5年ごとの見直しとされているが、施設の老朽化進行や利用状況の変化を踏まえると、年次単位での進捗管理が必要である。KPI(例:施設稼働率、維持管理コスト、健全度改善率等)を設定し、毎年度の評価・公表を行う仕組みを明記すべきである。</p>	<p>本計画については、中間年である概ね5年後を目途に、必要に応じて見直すこととしています。一方で、個別の施設については、施設別実施方針に基づき、今後の調査結果等を踏まえながら具体的な取組を進めてまいります。</p> <p>また、計画の進捗管理については、実施状況や必要な情報を整理・確認したうえで、適宜、議会及び市民への適切な説明・公表に努め、透明性の確保を図ってまいります。</p> <p>(健康福祉部保健医療政策課)</p>
8	<p>12～13頁 5.施設別実施方針／施設群の扱い 施設一覧 全体最適、施設群としての扱い</p> <p>当該施設群(新本館棟・中央棟・管理棟・接続棟等)は、個別施設ではなく一体的な医療機能を構成しているが、本計画では個別単位での評価・方針記載にとどまっている。</p> <p>これらを「病院機能としての一体施設群」として再整理し、全体最適(動線・機能配置・更新時期)の観点から統合的な更新・改修方針を策定する考えはあるか。</p>	<p>今後、施設の活用状況や健全度評価等を踏まえた調査を実施し、その結果に基づいて具体的な施設整備の内容を検討していきます。</p> <p>現時点では統合的な方針を策定する予定はありませんが、施設整備検討の際には、全体最適の観点を踏まえ検討してまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
9	<p>10～11頁(健全度評価) 施設の老朽化状況／長寿命化改修等の優先順位位置付け</p> <p>中央棟(築年数が古い)等を含む施設について、健全度評価結果および優先順位が明示されていない。</p> <p>各棟ごとの健全度スコアと、優先順位付けの具体的根拠(点数閾値・リスク評価)を公表すべきではないか。また、診療機能に直結する棟については、一般施設とは異なる優先基準を設ける必要があるのではない</p>	<p>各施設の健全度評価点数は、施設ごとの健全評価表の合計点数の欄に記載しております。</p> <p>個別の医療施設等については、施設別の実施方針に基づき、活用状況や健全度評価等を踏まえた調査を行い、その結果に基づいて、施設の整備内容を検討します。その上で、長寿命化改修や大規模改</p>

	か。	<p>修など、予防保全型による維持管理を進めていきます。</p> <p>現時点で一般施設とは異なる優先基準を設ける予定はございませんが、優先すべき項目については、検討に合わせ総合的に判断してまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
10	<p>5頁(施設外観)</p> <p>施設の実態／施設別実施方針(判定項目)</p> <p>接続棟(南・北)や渡り廊下棟は、単独施設としては小規模であるが、医療提供における動線確保の観点では重要なインフラである。</p> <p>これらの施設について、単独の老朽化評価ではなく、「病院全体の機能維持への影響度」を加味した評価・更新基準を設けているか。</p>	<p>現時点で「病院全体の機能維持への影響度」を加味した評価・更新基準については設けておりませんが、整備を検討する際には、病院機能を維持する観点から、総合的な判断に努めてまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
11	<p>7頁(維持管理費)</p> <p>施設の維持管理費及び修繕費の状況／財源確保</p> <p>エネルギー棟など特定施設に維持管理費が集中している状況が見受けられる。</p> <p>エネルギー供給設備の更新や集約(省エネ機器導入・一元化)によるコスト削減効果の試算は行われているか。また、長期的に見たランニングコスト最適化の視点が十分に反映されているか。</p>	<p>エネルギー棟については、整備時に供給設備の更新や集約によるコスト試算を行っております。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
12	<p>11頁(長寿命化の考え方)</p> <p>長寿命化の考え方／施設別実施方針</p> <p>長寿命化を基本とする方針は理解できるが、病院施設は機能更新(医療機器対応・感染対策等)が求められるため、単純な延命が適さない場合もある。</p> <p>「長寿命化」と「建替」の判断基準について、医療機能更新の観点(例えば手術室規格、感染動線、耐震性)をどのように反映しているか明確にすべきではないか。</p>	<p>個別の医療施設等については、施設別の実実施方針に基づき、今後、施設の活用状況や健全度評価等を踏まえた調査を行い、その結果に基づいて施設の整備内容を検討します。</p> <p>具体的な取組内容を検討するにあたっては、多角的な視点から総合的に評価し、その上で、長寿命化改修や大規模改修な</p>

		<p>ど、予防保全型による維持管理を進めてまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
13	<p>6頁・13頁</p> <p>医師住宅・看護師住宅の位置づけ</p> <p>医師住宅や看護師宿舎は医療人材確保に直結する重要施設であるが、一般施設と同様の維持・改修扱いとなっている。</p> <p>人口減少下においても医療人材確保は重要課題であることから、これら施設については別枠での戦略的位置づけ(更新・再配置・民間活用等)を検討すべきではないか。</p>	<p>具体的な取組内容を検討するにあたっては、多角的な視点から総合的に評価し、その上で、整備方針を検討してまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
14	<p>12頁、13頁、15頁</p> <p>施設集約・機能再編の可能性</p> <p>現状は複数棟に機能が分散しているが、将来的な人口減少・医療需要の変化を踏まえ、機能集約(コンパクト化)や再配置の検討は行われているか。</p> <p>特に、外来・入院・管理機能の再配置による効率化や患者利便性向上の可能性について検討状況を示されたい。</p>	<p>現時点、再配置の検討結果はありませんが、今後、外来・入院・管理機能の再配置については、医療法や地域医療構想、医師確保の状況、国の制度改正、地域住民との合意形成など、多くの外部要因を踏まえ、今後の検討の中で整理してまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
15	<p>2頁、11頁</p> <p>災害対応・拠点性の強化 施設整備の考え方</p> <p>当該施設は地域の中核医療機関として災害時の拠点機能を担うと考えられるが、耐震性・非常用電源・ライフライン確保等の観点からの評価および強化方針が具体的に示されていない。</p> <p>災害拠点としての機能維持に関する評価指標と今後の整備方針を明確にすべきではないか。</p>	<p>具体的な取組内容を検討するにあたっては、地域の中核医療機関として災害時の拠点機能を担う重要な役割を有することを踏まえ、多角的な視点から総合的に評価し、その上で、整備方針を検討してまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
16	<p>16頁(実施方法)</p> <p>スケジュールの具体化</p> <p>計画全体としては10年スパンでの整理となっているが、病院機能に関わる施設につ</p>	<p>個別の医療施設等については、施設別の実施方針に基づき、今後、施設の活用</p>

	<p>いては、更新・改修の時期が医療提供に直結する。</p> <p>各棟ごとの改修・更新の概略スケジュール(短期・中期)を示すべきではないか。</p>	<p>状況や健全度評価等を踏まえた調査を行い、その結果に基づいて施設の整備内容を検討します。</p> <p>具体的な取組内容を検討するにあたっては、多角的な視点から総合的に評価し、その上で、長寿命化改修や大規模改修など、予防保全型による維持管理を進めてまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
17	<p>3頁、7頁、13頁</p> <p>雲南市立病院新本館棟</p> <p>雲南市立病院新本館棟については、平成29年建築の比較的新しい施設であり、令和6年度の利用者数も68,929人と、市内医療施設等の中でも特に利用規模が大きい中核的施設であることから、「適切な管理運営により、施設を存続する」とする方針は妥当であると考えます。特に、市立病院は市民の生命・健康を支える基幹的な医療拠点であり、単なる公共施設の維持管理の観点だけでなく、救急医療、災害時対応、地域医療、在宅医療との連携、高齢化社会への対応といった観点から、安定的に機能を維持していく必要があります。資料上も、新本館棟は大東町飯田に所在し、平成29年建築、延床面積13,742.60㎡の大規模施設として位置付けられており、直近3年平均の維持管理費も7,951,762円とされています。そのため、今後は単に「存続」と記載するだけでなく、予防保全の実施時期、設備更新の考え方、医療機能を停止させないための改修手順、災害時の業務継続、光熱費削減・省エネルギー化、バリアフリー・感染症対応など、病院機能の継続性を確保するための具体的な維持管理方針を明記すべきです。新本館棟は築年数が浅い段階から計画的に保全することで、将来的な大規模修繕費や突発的な修繕費の抑制につながると考えら</p>	<p>個別の医療施設等については、施設別の実施方針に基づき、今後、施設の活用状況や健全度評価等を踏まえた調査を行い、その結果に基づいて施設の整備内容を検討します。</p> <p>具体的な取組内容を検討するにあたっては、多角的な視点から総合的に評価し、その上で、長寿命化改修や大規模改修など、予防保全型による維持管理を進めてまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>

	れます。したがって、本計画においては、新本館棟を市民医療の中核施設として明確に位置付けたうえで、中長期的な修繕・更新計画、財源確保、医療提供体制との整合性をより具体的に示すことを求めます。	
18	3頁、13頁 新本館棟／実施方針	
	新本館棟については「適切な管理運営により、施設を存続する」とされていますが、ここでいう「適切な管理運営」の具体的内容をお示しください。日常点検、法定点検、設備更新、修繕判断、更新時期の判断基準など、どのような管理項目をもって施設機能を維持していくのか確認します。	<p>「適切な管理運営」としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常点検、(設備稼働状況・安全確認等)</li> <li>・法定点検(電気・消防・空調等の法令に基づく点検)</li> <li>・設備更新(耐用年数・故障履歴等を踏まえた計画的更新)</li> <li>・修繕判断(劣化状況・医療機能への影響度に基づく判断)</li> <li>・更新時期の判断基準(耐震性、医療機能要件、設備寿命等の総合評価)</li> </ul> <p>これらの管理項目に基づき、病院機能を継続的に維持してまいります。 (雲南市立病院事務局管財課)</p>
19	10頁、13頁 健全度評価／新本館棟	
	新本館棟は健全度100点とされていますが、この評価は主に建物の屋根・外壁・内部仕上げ・電気設備・機械設備を対象としたものと理解してよいでしょうか。病院機能に不可欠な医療設備、非常用電源、給排水、空調、感染症対応設備、災害時の受入体制などは、別途どのように評価・点検されているのかお示しください。	<p>健全度100点の評価は主として建物本体および主要設備(屋根・外壁・内部仕上げ・電気設備・機械設備等)を対象とした劣化状況の評価に基づくもので、病院機能の維持に不可欠な医療設備、非常用電源、給排水設備、空調設備、感染症対応設備、災害時受入体制については、健全度評価とは別に、法定点検、性能評価、BCP(業務継続計画)に基づく点検・検証等により個別に評価・管理しているところで (雲南市立病院事務局管財課)</p>
20	7頁、13頁 施設の活用状況／利用者数	
	新本館棟の利用者数は令和6年度で68,9	新本館棟における利用者数は外来患者

	<p>29人とされていますが、この「利用者数」の定義をお示してください。外来患者数、入院患者数、延べ利用者数、職員・付添者を含むのかなど、施設の必要性を判断する上で重要な指標であるため、算定方法を明確にする必要があります。</p>	<p>数で集計しており、入院患者数、延べ利用者数、職員・付添者等は含みません。 (雲南市立病院事務部管財課)</p>
21	<p>7頁、14頁 維持管理費及び修繕費</p> <p>新本館棟の直近3年平均の維持管理費は約795万円とされていますが、改修・更新費は0円とされています。新しい施設であるため現時点で大規模改修が少ないことは理解できますが、今後の設備更新や修繕需要をどのように見込んでいるのか、将来負担の考え方をお示してください。</p>	<p>新本館棟は築年数が浅いため、直近3年間における改修・更新費は計上されておきませんが、今後は設備の経年劣化に伴い、一定の更新・修繕需要が発生するものと見込んでおります。このため、今後は以下の観点から、将来負担の見通しを整理してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要設備の耐用年数を踏まえた更新時期の推計</li> <li>・修繕需要の発生見込み(空調・給排水・電気設備等)</li> <li>・予防保全の実施計画による突発的修繕費の抑制</li> <li>・中長期的な更新費用の平準化に向けた財源確保の検討</li> </ul> <p>これらを踏まえ、将来的な設備更新・修繕費を適切に見込んだ維持管理方針を計画に反映してまいります。 (雲南市立病院事務部管財課)</p>
22	<p>11頁、14頁 改修周期／費用推計</p> <p>計画ではS造の目標耐用年数を80年、大規模改造を築20年・60年、長寿命化改修を築40年としています。新本館棟は平成29年建築であり、今後10年間では大規模改修の時期に達しないと考えられますが、築20年を迎える時期に向けた財源準備や修繕積立の考え方はあるのか確認します。</p>	<p>新本館棟は、計画上示している大規模改造時期に今後10年間では到達しないものの、改修に向け財源準や修繕積立の考え方を整理しておくことは重要であると認識しております。</p> <p>今後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要設備の耐用年数を踏まえた更新需要の推計</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・築20年時点での大規模改造に向けた財源確保方針</li> <li>・修繕積立の考え方の整理</li> <li>・予防保全の計画的実施による将来負担の平準化</li> </ul> <p>等の観点から、中長期的な修繕・更新計画の具体化を進めてまいります。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
23	13頁 施設別実施方針	
	<p>新本館棟は市立病院の中核施設であり、他の中央棟、管理棟、接続棟、エネルギー棟等と一体的に機能していると考えられます。新本館棟単体では健全であっても、周辺棟や接続部分の老朽化が病院全体の機能に影響する可能性があります。病院全体としての機能維持をどのように評価しているのかお示してください。</p>	<p>新本館棟は市立病院の中核施設であり、中央棟、管理棟、接続棟、エネルギー棟等と一体的に医療機能を構成していることから、病院全体としての機能維持については、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動線の連続性(外来・入院・検査・救急の接続性)</li> <li>・周辺棟の老朽化状況</li> <li>・接続部の安全性・機能性</li> <li>・エネルギー供給・ライフラインの安定性</li> <li>・災害時の病院全体の業務継続性</li> </ul> <p>などの視点で、病院全体の機能を総合的に評価するよう努めています。</p> <p>(雲南市立病院事務部管財課)</p>
24	2頁、13頁 適切な機能を持つ施設	
	<p>新本館棟について、現在の施設規模や機能が将来の人口減少、高齢化、医療需要の変化に対して適正であると判断した根拠をお示してください。単に施設を存続するだけでなく、診療機能、病床機能、外来機能、救急対応等の将来見通しと整合しているか確認が必要です。</p>	<p>新本館棟の存続方針については、現時点では、以下の観点を踏まえ、施設規模・機能が概ね適正であると整理しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・高齢化の見通しに基づく医療需要推計</li> <li>・病床機能(急性期・回復期等)の必要量の検討</li> <li>・外来機能の将来需要(高齢化による慢性疾患増加等)</li> <li>・救急医療の地域的役割</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県保健医療計画や島根県地域医療構想との整合性</li> </ul> <p>(雲南市立病院事務局管財課)</p>
25	2頁、14頁 財源確保	<p>新本館棟は延床面積が大きく、将来的な維持管理・設備更新費も大きくなることが見込まれます。今後の大規模改修や設備更新に備え、国・県補助金、有利な起債、病院事業会計との関係を含め、どのように財源を確保していくのかお示しください。</p> <p>新本館棟は将来的に大規模改修や設備更新に相応の費用が見込まれることから、計画的な財源確保のため、以下の観点で整理を進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県補助金の活用(医療施設整備、耐震化、省エネ化等の対象事業)</li> <li>・有利な起債の活用(公立病院整備に係る地方債等)</li> <li>・病院事業会計との役割分担(建物・設備の区分に応じた費用負担の整理)</li> <li>・中長期的な更新費用の平準化(予防保全の徹底、計画的更新による突発的負担の抑制)</li> </ul> <p>(雲南市立病院事務局管財課)</p>
26	11頁、16頁 省エネルギー／維持管理費削減	<p>計画では再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入、維持管理費削減の検討が示されています。新本館棟について、空調・照明・給湯・電力使用量等の省エネ対策、ランニングコスト削減目標、実施予定の有無をお示しください。</p> <p>新本館棟については空調・照明・給湯・電力使用量等に係る省エネ対策やランニングコスト削減が重要であり、以下の観点から検討を進めております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備の省エネ化(高効率機器の導入可能性の検討)</li> <li>・照明のLED化(未実施箇所の更新計画の整理)</li> <li>・給湯設備の効率化(熱源設備の更新時期に合わせた省エネ化検討)</li> <li>・電力使用量の把握・分析(BEMS等による管理手法の検討)</li> <li>・ランニングコスト削減目標の設定に向けた基礎データ整理</li> </ul> <p>これらの取組の実施可否や具体的な導入時期については、設備更新計画や財源確</p>

		保の状況を踏まえ、段階的に整理してまいります。 (雲南市立病院事務部管財課)
27	16頁 フォローアップ	
	計画では進捗状況、利用状況、維持管理コスト等を評価するとされています。新本館棟について、毎年度どの項目を公表し、どのような基準で改善・見直しを行うのかを明確にしてください。市民にとって重要な医療拠点であるため、透明性のある進行管理が必要です。	本計画については、中間年である概ね5年後を目途に、必要に応じて見直すこととしています。一方で、個別の施設等については、施設別実施方針に基づき、今後の調査結果を踏まえながら具体的な取組を進めてまいります。また、計画の進捗管理については、実施状況や必要な情報を整理・確認したうえで、適宜、議会及び市民への適切な説明・公表に努め、透明性の確保を図ってまいります。 (雲南市立病院事務部管財課)